

## 「軽井沢健診」令和2年度 1500万円計上



軽井沢病院

軽井沢町と信州大学社会基盤研究所は4月から、「軽井沢健診」と題し、認知症の早期発見を目指すプロジェクトを開始する。軽井沢病院で高齢者400人の健康診断を継続的にを行い、令和2年度から7年度にかけて5年間のデータを収集、分析する。慢性的な医師不足に直面している軽井沢病院で、認知症の早期発見という臨床と研究ができると謳うことで、医師が働きたい病院づくり、医師確保を目指す。

## 臨床と研究ができる病院へ 医師確保を目指す

保を目指す。プロジェクトの説明が行われた全員協議会で、軽井沢病院の篠原事務長は「このプロジェクトに参加すれば、学位も取れるということだ。先生が集まるのではないかと考えている」と話した。

健診の対象となるのは、既に認知症と診断された人を除く65歳以上、90歳未満の町民で、令和2年度200人、3年度200人を募

## 2年間で1億円

## 寄付講座費用、使い道と成果は？

信大・東大との連携による寄付講座設置から間もなく2年となる。この間の町からの寄付金1億円の使途について、軽井沢新聞社では昨年9月から信州大学に情報公開を求めてきた。予算差引簿の一部が開示され、ドラム式洗濯乾燥機(約18万円)や掃除機(7万円)、テレビ2台、コタツなどの家電製品を始め、文具や事務用品、浴室サンダルや物干しざお等生活用品、専門書や雑誌、毎月の洗濯代、光熱費などに充てられていることが明らかとなった。しかし予算の

大半を占める人件費(予算額4900万円/年)については開示されず、勤務実態を示す出勤簿などもすべて黒塗りでの回答だった。

信大の報告によれば、2018年度は月1回のミーティングの他、開所式やワインを楽しむ会、セミナー4回、町民講座1回が行われた。町は講座開設に併せて軽井沢病院への内科医派遣を求めているが、2020年3月現在新たに3名が着任している。医師の給与は寄付金には含まれていない。

## ダイヤモンド・プリンセス号乗船の町内女性が訴え 「検疫体制の確立など、平時に準備強化を」

集団感染が起きた大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」号に乗船していた町内の60代女性に、船内の状況や下船後の過ごし方について聞いた。

1月20日に横浜を出発。鹿児島→香港→ベトナム→台湾と巡り、最初に船内の異変を感じたのは、沖縄に就航した2月1日。検温と問診票の記入を行うよう言われ、下船が予定より4時間近く遅れた。横浜に着いた3日夜、香港で下船した人が感染していたこと、14日間の船内待機がアナウンスで伝えられた。

停泊中は埠頭側に多少傾い

ている感じで「だんだん自律神経がおかしくなった」。常備薬が切れそうでフロントへ連絡するも、混み合って全く繋がらず「横浜に停泊していたのだから、せめて国内の対応窓口を設置してほしかった」。

部屋から出られない状態が続き、船のデッキへ順番に出られるようになったのが12日で、「階段を上るのも辛いほど体がなまっていた」。

20日に下船できたが「その後の過ごし方については何も言われず、自己判断に任せるとのことだった」。それでも2週間は、自宅から一步も出な

いと決めた。佐久保健所からは毎朝連絡があり、検温記録を報告するも「『困っていることは?』などのフォローは特になし」。

買い物は、町内の友人に必要なものを伝え、玄関先に置いてもらうようにしていた。「頼れる人がいたのでありがたかったが、そうでない人は厳しかったはず」。下船から13日間が経過した3月3日現在、容態に変化はないという。

今回の感染拡大を教訓に、女性は「平常時に準備を進め、何か起きたときに対応できる状態にしておかないといけない」と強調。権限を持った機関のもと、検疫体制の確立と感染を拡大させないプログラムづくりが急務と訴えた。

## NEWS DIGEST

### ■ 感謝を伝える結婚式、グランプリに

軽井沢ウェディング協会加盟の6社が2月19日、2019年度に自社でプランニングした結婚式を発表し、グランプリを決めた。選ばれたのは「想い〜はじまりの一言」をテーマにスピーチした「軽井沢プリンスホテル フォレストーナ軽井沢」の高橋奈央さん。埼玉



県出身の新郎新婦が両親へ感謝を伝える結婚式を企画。「結婚式は誰に気持ち伝え、どう想いを伝えるのが大切だと思います」と高橋さん。

### ■ 軽井沢警察署、中部電力と協定

軽井沢警察署は2月26日、中部電力株式会社電力ネットワークカンパニー佐久営業所と地域安全に関する協定を結んだ。同社は通常業務の中で、事件や事故の発生や不審者を認知したときの通報、助けを求めてきた子どもの保護、高齢者を狙った特殊詐欺防止の声かけ活動などに協力する。

### ■ G20 町民会議解散へ、活動報告も

2019年6月に開かれたG20関係閣僚会合の準備を進め、事前イベントなどを開いていた官民連携組織の軽井沢町民会議は、2月27日に収支などを発表した。町民会議は町から約1900万円の委託料を受けて活動。視察や、会議費、イベント費用などで約1400万円支出があった。残金は町に返還する。同日町民会議は解散した。

### ■ あさま山荘事件の殉職警官を慰霊

1972年のあさま山荘事件で殉職した2人の警官を慰霊する式典が2月28日、顕彰碑「治安の礎」前で行われた。地元の警察や地域住民ら25人が黙祷を捧げ、花を手向けた。当時、人質救出の鉄球作戦に協力した白田弘行さんも参列。「どうしても当時を思い出す。安らかに眠ってくださいと声をかけた」と話した。

### ■ 間仕切りなど提供で 御代田町とNPOが協定

NPO法人「ボランティア・アーキテクツ・ネットワーク」と御代田町は3月2日、大規模災害時に避難所で使用する、間仕切りシステムと段ボール製簡易ベッド供給に関する協定を結んだ。災害時、町が同NPOに要請し、必要な数の間仕切りとベッドを送ってもらう。間仕切りは、紙パイプと布を組み合わせて簡単に作ることができ、東日本大震災などでも使われた。小園拓志町長は「災害訓練などで設営したり、日頃から親しんでもらえるようにしたい」と、何セットかは備蓄する考えも示した。



段ボールベッドの座り心地を確かめる町長。

## 満足できるメガネをお作りします

はめんしゅうさいせきそうち ウェーブフロント アナライザー  
長野県初の「波面収差解析装置 Wavefront Analyzer」を導入※

視力が出ない原因を徹底解析 ークリアな視界をー



必ず見つかる  
お気に入り

県内最大  
眼鏡5,000本の品揃え



米のオプトメトリーを学ぶ店長が高度な両眼バランステストを併せて行うので来店の際はご予約を。テストで斜視・斜位・複視など原因不明の不調、輻輳(ふくそう)機能の状態も検査します。



角膜と水晶体の度数を0.01D単位で測定する世界最先端の波面収差解析装置等、手術や診断に使われる世界最先端の装置。  
※H30.7.31現在、医療機関以外

## 店舗改装SALE

フレーム・サングラス

全品10%OFF + 5%ポイント還元(クレジット)

※2020年4月末まで

カールツァイス社製3次元計測器 i.Terminal2導入



ご使用のメガネの目の高さのズレ 傾斜 そりを3次元で測定

VISION STATION  
by komiyama

ビジョンステーション by コミヤマ  
TEL.0267-41-6373

【JOA公認SS級認定眼鏡士】 営/10〜19時(受付18時迄) 火曜定休  
【認定補聴器専門店】 予約制 http://www.eyeloveyou.jp

## 職人の技が生かされた 快適な「木の家」

冬の管理費、  
電気代の心配が  
不要

厳しい軽井沢の  
冬でも  
暖かな家

お客様の理想  
の家を  
予算内で



完成物件随時  
見学受付中

中軽井沢  
ツルヤ近く

軽井沢の風土にあった家をつくり続けて43年

セイケンハウス  
SEIKEN HOUSE



軽井沢オフィス 軽井沢町大字長倉1888-9 TEL.0267-45-1155  
本社 小諸市甲549-2 TEL.0267-22-6868  
http://www.seiken-house.jp